

88HOUSE ORIGINAL PARTS

ジャンプスターター ITO-L64000 保証書・取扱説明書

注意
保証を受ける時はこの取扱説明書兼保証書が必要になりますので大切に保管してください。保証書無き場合は一切の保証が受けられなくなるので、ご了承ください。

＜お客様へ＞

- ・ご使用前、安全に正しくお使いいただく為に必ず「取扱・取付説明書」をよくお読みになってください。
- ・お読みになられた後も、必ず必要になることがありますので、「取扱・取付説明書」は大切に保管してください。

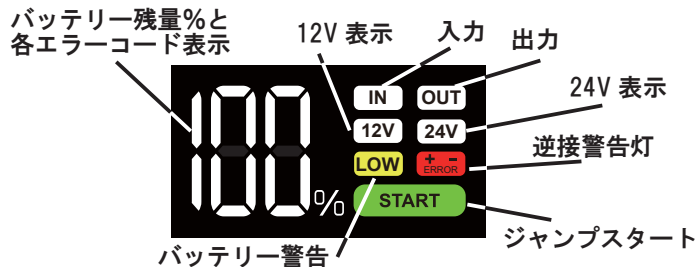
ご使用前に、ご確認ください！

- ・パッケージから出して最初にお使いになる時は満充電にしてから使用してください。
- ・高温環境下での保管、特に車内への放置は絶対に行わないでください。←裏面の危険をご覧ください！

各部の名称と構成品



ディスプレイ表示と電池の残量

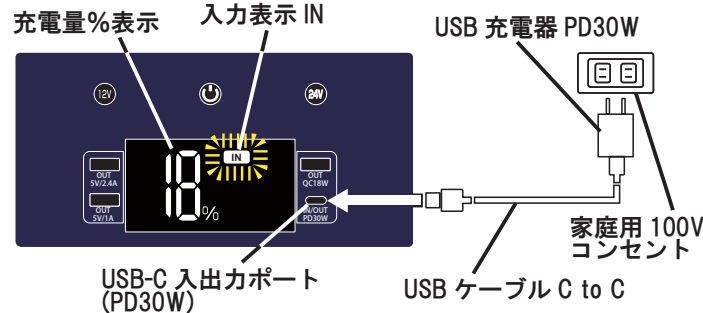


- 1) 本体の電源スイッチを長押ししてディスプレイを表示させてください。
- 2) 左上の数字の%表示でバッテリー残量を確認することができます。
- 3) そのまま 30 秒経つと自然に電源が切れます。
- 4) ジャンプスタートは 50%以上で行ってください。

本体の電源を強制的に OFF にする方法

- 本体の電源が ON になっているとき電源スイッチを 3 秒間長押しすると全ての電源が OFF になります。
- 強制出力も解除され全て OFF にすることができます。

充電方法



- 1) 付属の USB 充電器 PD30W を家庭用 100V コンセントに差し込んでください。
 - 2) 付属の USB ケーブル C to C を家庭用 100V コンセントに差し込んだ USB 充電器 PD30W に差し込んでください。
 - 3) 本体の USB-C 入出力ポート (PD30W) へ USB ケーブル C to C のもう片側を差し込んでください。
 - 4) ディスプレーが表示し充電量%と IN が点灯します。
 - 5) 充電が完了し 100% になると自動的に本体の電源は OFF になります。
- ※ 0%から満充電までに約 6.5 時間かかります。

車両のバッテリーに接続した時の状態

■下記の表は本体の電源を入れずにプラス、マイナスクランプを車両のバッテリーへ接続した時のディスプレイの表示となります。使用前に確認しておいてください。

No	車両の電圧	ディスプレイの状態	本体の電源	始動
①	0 ~ 2V	反応無し	OFF	NO
②	2 ~ 9V	12V 点滅	自動 ON	NO
③	9 ~ 14V	12V + START 点灯	自動 ON	12V/OK 24V/NO
④	14V ~	24V + START 点灯	自動 ON	OK

車両のバッテリーが 2V 以下の時の注意

車両のバッテリーが 2V 以下 (死んだバッテリー) の場合エンジンスタートの保証ができませんのでご了承ください。

- 車両のバッテリーが 2V 以下の時は自動的にシステムは ON になりません。
- 車両のバッテリーが 2V 以下の場合、強制出力を行った時に本体の電気が車両のバッテリーに吸収され性能が出なかったり過電流になり安全装置が働く場合があります。
- 車両のバッテリーが通常の性能 (12V 車で 9V 以上、24V 車で 13V 以上) でないと始動しない車両が一部ありますのでご注意ください。近年の 12V 車両 (その中でも特に輸入車が多く) については車両のバッテリーが 6V 以上無いとエンジンの再起動ができない車種が多々あります。

強制出力について (緊急時、検査のみ使用)

- 強制出力でのスタートは保証対象外になります。
- この項目は緊急時の時のためや修理に出す前の目安として強制出力の方法を紹介しています。通常での使用は行わないでください。
- 強制出力はインテリジェントシステムが常に解除され強い電気が流れ続けている状態で大変危険です。

・強制出力方法 (緊急時、検査のみ使用)

- 1) クランプを本体から外さないでください。
- 2) 本体の電源スイッチを長押しして電源を入れバッテリー残量が 50% 以上あることを確認してください。
- 3) 出力したい電圧の 12V スイッチまたは 24V スイッチを長押しすると 12V または 24V と START が点灯するので確認してください。この状態が強制出力です。
※自動で認識された時と違い大きな電気 (A) が流れています。十分に気を付けてください。
※強制出力はインテリジェントシステムが解除されます。
- 4) 30 秒で電源が切れるのを待つか、電源スイッチを 3 秒間長押しして強制出力を終了してください。

ジャンプスタート

1 2V 車へのジャンプスタート方法

本体の電源は入れずにクランプを接続してください

プラス / マイナスの順にクランプを接続してください。 本体の電源は入れないでそのまま接続してください。

12V バッテリー

表示なし

12V と START が点灯

12V の点滅

手順 4) を確認

警告音とともに警告灯が表示されたら逆接です。直ぐに繋ぎ変えてください。

12V スイッチを長押し 12V と START を表示させてください。

30 秒以内にエンジンをスタートさせてください。

- ・エンジンをスタートさせてください。
- ・スタートしたらマイナス、次にプラスのクランプを外してください。

- 1) 電源を入れずにジャンプスターターのプラス、マイナスの順にクランプを車両のバッテリーに接続してください。
※ブザー音と逆接表示が点灯したら逆接です！直ぐに繋ぎ換えてください！
- 2) 下記の中からディスプレイの表示を確認してください。
 - ・「12V」と「START」が点灯→そのまま手順 5) へ
 - ・「12V」が点滅している。→手順 3) へ
 - ・何も表示されない。→手順 4) へ
- 3) 車両のバッテリーが 2V ~ 9V の状態です。
 - ・12V スイッチを長押しして「12V」と「START」を点灯させる。→手順 5) へ
- 4) 何も表示されない時はバッテリーが 2V 以下です。
 - ・バッテリーが死んでいる状態です。「車両のバッテリーが 2V 以下の時の注意」と「強制出力について」を確認してください。保証対象外となり危険で推奨はしませんがエンジンを始動させなければならない状態であれば 12V を長押しして「12V」と「START」を点灯させて手順 5) へ進んでください。
- 5) 車両のエンジンをスタートさせてください。
- 6) エンジンがスタートしたら直ぐにクランプをマイナス側から外してください。
- 7) そのまま 30 秒経つと自然に本体の電源が切れるのを待つか電源スイッチを 3 秒間長押しして電源を OFF にしてください。

注意：このジャンプスターターは毎回「電源を入れずに」車両のバッテリーへクランプしてください。

2 4V 車へのジャンプスタート方法

本体の電源は入れずにクランプを接続してください

プラス / マイナスの順にクランプを接続してください。 本体の電源は入れないでそのまま接続してください。

24V バッテリー

表示なし

24V と START が点灯

12V と START が点灯

12V の点滅

手順 5) を確認

警告音とともに警告灯が表示されたら逆接です。直ぐに繋ぎ変えてください。

24V スイッチを長押し 24V と START を表示させてください。

30 秒以内にエンジンをスタートさせてください。

- ・エンジンをスタートさせてください。
- ・スタートしたらマイナス、次にプラスのクランプを外してください。

- 1) 電源を入れずにジャンプスターターのプラス、マイナスの順にクランプを車両のバッテリーに接続してください。
※ブザー音と逆接表示が点灯したら逆接です！直ぐに繋ぎ換えてください！
- 2) 下記の中からディスプレイの表示を確認してください。
 - ・「24V」と「START」が点灯→そのまま手順 6) へ
 - ・「12V」と「START」が点灯→手順 3) へ
 - ・「12V」が点滅している。→手順 4) へ
 - ・何も表示されない。→手順 5) へ
- 3) 車両のバッテリーが 9V ~ 13V の状態です。
 - ・24V スイッチを長押しして「24V」と「START」を点灯させる。→手順 6) へ
- 4) 車両のバッテリーが 2V ~ 9V の状態です。
 - ・24V スイッチを長押しして「24V」と「START」を点灯させる。→手順 6) へ
- 5) 何も表示されない時はバッテリーが 2V 以下です。
 - ・バッテリーが死んでいる状態です。「車両のバッテリーが 2V 以下の時の注意」と「強制出力について」を確認してください。保証対象外となり危険で推奨はしませんがエンジンを始動させなければならない状態であれば「24V」と「START」を点灯させて手順 6) へ進んでください。
- 6) 車両のエンジンをスタートさせてください。
- 7) エンジンがスタートしたら直ぐにクランプをマイナス側から外してください。
- 8) そのまま 30 秒経つと自然に本体の電源が切れるのを待つか電源スイッチを 3 秒間長押しして電源を OFF にしてください。

LEDライトの使用方法

- 1) 本体の電源スイッチを長し押ししてディスプレイを表示させてください。
- 2) 再度電源スイッチを長押しするとLEDライトが点灯します。
- 3) 電源スイッチを押すたびに点滅→SOS→消灯になります。
- 4) ライトが消灯するとディスプレイは30秒後に消灯します。

エンジンスターートの注意

以下の内容で故障、災害が起きても保証対象外なのでご注意ください。

■ クランプをはさむ時は面積を大きく取って下さい。面積が小さいと異常発熱が起こりクランプ、基板、バッテリーが破損します。※クランプは消耗品です。

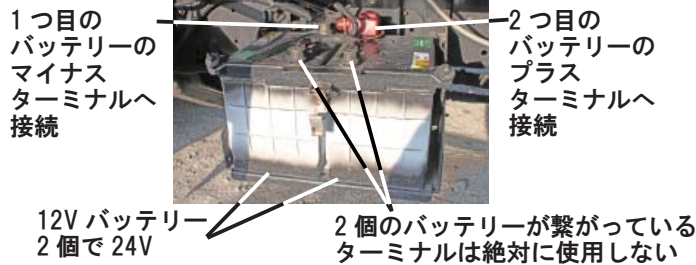


くわえる面積が小さいと発熱し故障します。面積を大きく取り発熱を抑えてください。

- スタートは3秒以内で行い180秒休ませてから次のスタートを行ってください。3回連続でスタートさせて、エンジンがスタートしない時は他に原因があると思われるので使用を中止してください。
- 保証対象外ではありますが本製品は車両のバッテリーへ接続する前に強制的に電気の出力を行う事が出来ます。しかし強制的に出力を行った状態でプラス、マイナスを繋ぎ間違えるケースが圧倒的に多いので緊急時以外は電源オフの状態です直接車両のバッテリーへ接続してください。
- 強制的に電気を出力した場合は30秒でOFFになります。
- クランプの金属部分はディスプレイにSTARTの表示がある間は強い電気が流れています。ショート等十分に気を付けて作業を行ってください。

24V車へつなぐときの注意

- 24V車は特殊なケース以外をのぞいて12Vのバッテリーを2個つなげています。バッテリーターミナルへのバッテリークランプの接続は写真の様に接続してください。
- 車両によりバッテリーの配列やターミナルの接続はいろいろな種類があるので注意してください。

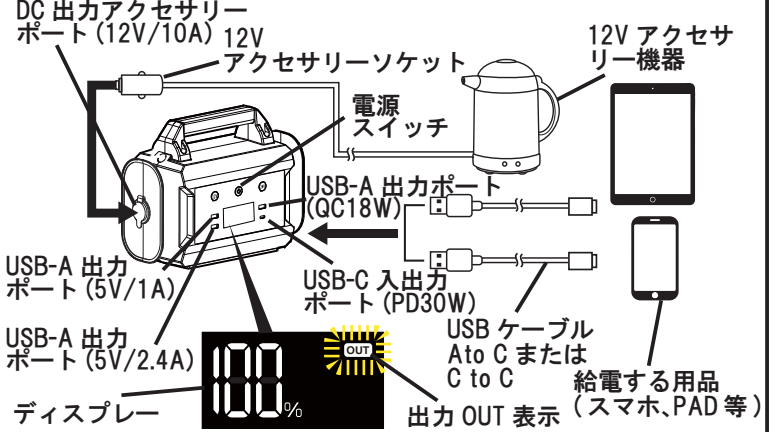


エラーコード、エラー表示について

- 本体に異常があるとディスプレイの12Vまたは24V表示部に下記エラーコードが表示されます。
- エラーコード、エラー表示が表示されると電源の出力が停止します。指示に従って対処してください。

コード	内容	解除方法
E1	単電池の定電圧異常、配線異常で充電ができない状態です。配線の切断等考えられます。	ONにならない時は修理の依頼を行ってください。
E2	充電温度保護、放電温度保護、MOS高温保護の状態です。	一旦オフにして30秒待ってから本体の電源をONにします。
E3	AEFチップ通信異常、入出力禁止	ONにならない時は修理の依頼を行ってください。
E4	USB、クランプ出力の過電流、過負荷	本体の電源をONにします。
E5	クランプ出力直前の短絡	一旦オフにして30秒待ってから本体の電源をONにします。
E6	連続してジャンプを行った時に作動する出力停止状態。通常連続8回程	10分後に解除されます。
E7	単電池の出力差(0.5V)が大きいときに作動します。	E7表示中に電池を均等にします。E7中はリレーが数回動き均等になると解除されます。
E8	単電池の出力低下(2.7V以下)	電池の充電が上がらない状態です。寿命または充電不良です。修理の依頼を行ってください。
E9	リレー固着不良です。LEDライトは使用できますがそれ以外はオフになります。	ONにならない時は修理の依頼を行ってください。
LOW	エラー表示。単電池が3.1V以下で表示します。	再充電を行ってください。表示が消えない時は修理の依頼を行ってください。

USB出力から給電



- 1) 給電する用品にケーブルを差し込んでください。
- 2) 本体の電源スイッチを押しして電源を入れディスプレイを表示させてください。※USB-C入出力ポートは自動ON
- 3) 本体の各USBポートまたはDC出力ポートへ給電する用品のケーブルを差し差し込むと出力の「OUT」が表示され給電が始まります。
- 4) 給電が終わると30秒後、自動的にディスプレイが消灯し電源が切れます。※USB-C入出力ポート(PD30W)は自動ONです。※給電が0.2A以下になると30秒で給電しなくなるのでご注意ください。また0.2A以下の機器は使用できません。

インテリジェントシステムについて

- インテリジェントシステムは逆接、過電流、過熱、感電、低温に加え新機能を備え、より安全な商品となっています。
- 新機能「ジャンプの時だけ大きな電気を出力します」
- ・ 車両へクランプの接続をした時に出力は有りませんが車両のセルモーターが回り始めると自動的に大きな電気の出力を行いスタートを補助します。エンジンが始動すると出力を止めて終了します。ジャンプ時以外は出力が制御されているので安心して使用できるオリジナルシステムです。

スペック（諸元表）

- ◆寸法：285×152×214mm ◆重量：3800g
- ◆容量：64000mAh(204.8Wh) ◆クランプ出力：12V/24V エンジンスタート用 ◆USB出力：USB-A(5V/1A)：USB-A(5V/2.4A)：USB-A(QC18W)：USB-C(PD30W) ◆DC出力：アクセサリポート(12V/10A) ◆入力：USB-C(PD30W) ◆付属充電器：100V/USB充電器PD30W ◆充電(0パーセントから)：約6.5時間 ◆スタート電流：12V/650A、24V/650A ◆ピーク電流：12V/3400A、24V/3400A ◆使用温度範囲：環境-20～60℃ ◆バッテリー：リン酸鉄リチウムイオン電池(LiFePO4) ◆ジャンプ回数(100%)：12V車=37回/24V車=29回 ◆充電サイクル回数：4000回
- ※諸元は使用方法や環境によって変化する為、性能を永年保証するものではありません。またリチウムイオン電池は年数寿命もあるため使用しなくとも寿命はやってきます。

保証対象外のケース

- クランプの改造（長さ延長・社外品への交換）
- 本体を開けた形跡があるもの
- 本体を改造したもの
- クランプ（消耗品）の破損は保証対象外となります。
- ・ クランプが変形するような使用は本体内部が故障してしまうことがあります。クランプの変形、焦げ、溶けによる本体内部の部品の破損、バッテリーの破損は保証対象外となります。
- ・ クランプをはさむ時は面積を大きくとらないと発熱し溶けます。
- 外観の破損、可動部の破損は保証対象外となります。
- ・ 本体の外からの外圧による破損、掛け、割れは保証対象外となります。
- ・ クランプ、コード等の可動する部分は消耗品扱いです。
- 強制的に出力を行った状態でプラス、マイナスを間違えると本体は必ず故障します。逆接続での故障の保証は出来ませんのでご了承ください。
- 強制出力での逆接続時の安全保護機能は火災、爆発、破裂等、最悪の状態を作らない保護機能となっております本体が故障しない為の保護機能ではありません。



故障かなと思ったら

- 1年近く使用しジャンプの回数が減り弱くなった。
- 始動可能排気量や回数は新品のデーターによる目安です。電池は使用頻度や環境により劣化していきますので、これを永年保証するものではありません。
- 3～4年保管後、使用したらジャンプが弱い。
- 充電をせずに放置したり、環境により、使用しなくてもリチウムイオン電池には年数寿命がある為、故障ではありません。

お手入れと保管

- 製品を使い終わったら乾いた綺麗な布で本体をふき取ってお手入れしてください。
- リチウムイオン電池製品は使用しなくても3か月に1度は満充電して保管しておくことで寿命を延ばす事ができます。
- 保管するときは日の当たらない風通しの良い処へ保管してください。
- リチウムイオン電池はサイクル寿命の他に年数寿命も一般的に伴います。定期的に充電を行い使用回数が少なかったとしてもリチウムイオン電池は2年程で消耗が始まります。

保証内容

以下の内容で使用した場合は本体が破損し死亡または障害が起こる事があります。十分に注意して取り扱いを行ってください。また以下の内容での故障は保証が受けられませんのでご了承ください。

危険

- 高温環境下での保管（車内保管等）は、絶対に行わないでください。
- ※製品を水、湿気、熱、湯気、ほこり、油等の多い場所や高温環境下に保管すると火災、感電、故障の原因になり、器物等が破損し、重大な障害、または死亡する可能性があります。上記の場所での保管は絶対に行わないでください。
- バッテリー残量が29%未満の場合はエンジンをスタートさせないでください。電池の容量が29%を下回ると電圧が急激に上がることで電池が異常に熱くなり、本体が破損します。
- ※高温で破損した場合の保証は出来ませんので、ご了承ください。
- ※30%までのスタートはカバーできますが下回ってしまうと必ず故障します。余裕をみて50%以上でスタートしてください。
- バッテリークランプをバッテリーの端子に挟むときは面積を大きく取ってください。
- ※面積を大きくとらなかったり板のような部分に挟むとバッテリークランプが熱を持ったり火花が出たりし必ずバッテリークランプが変形します。バッテリークランプの変形や溶けに関しては保障できませんので、ご注意ください。
- ※クランプが変形するような使用をした場合は基板の部品が壊れたり電池が消耗する場合があります有り保証対象外になります。
- バッテリークランプの+-の逆接続、バッテリークランプの接触は絶対に行わないでください。
- ※逆接続は必ず故障するので絶対に行わないでください。
- ※+-の逆接を行うと安全装置が働き安全は確保されますが機器の故障を排除するものではありません。
- ※逆接した場合は放置せずすぐクランプを外して下さい。そのまま放置すると爆発するので迅速に対応してください。
- ※強制出力して逆接を行った場合本体が破損している可能性があります。危険なので再使用せず弊社へ修理に出すか製品を破棄して下さい。
- ジャンプでエンジンスタートさせる時のセルの長回しは、行わないでください。セルを回す時は、長くて3秒以内でやめ、180秒程本体を休ませてから、再度セルを回すように心掛けてください。
- セルの長回しを行うと、必ず本体が膨らみます。
- ※セルの長回しを連続で行うと電池が熱を持ち必ず本体が膨らみます。また熱で回路を破損させてしまいます。この症状に関しては、原因が分かっているため保障できませんので、ご注意ください。特に夏場のセルの長回しは必ず本体が膨らむ為ご注意ください。
- 連続で3回セルを回してエンジンがスタートしない時は、使用を中止してください。
- ※3回でエンジンがスタートしないときは、車両側に原因があると考えられます。車両側に原因がある状態で使用し続けると、本体が破損します。
- 本体が発熱している時の連続使用は行わないでください。様子を見ながら本体が十分に冷えたのを確認し使用してください。
- ※連続で使用すると異常発熱が起こり本体が膨らんだり破損したりします。
- スタート時にバッテリークランプを接続したままエンジンの空吹きを行うとケースにより電流が本体に流れて異常発熱する可能性があるため絶対に行わないでください。

危険

- ※異常発熱による破損、ボディーの溶け、膨らみは保証できませんので、ご注意ください。
- エンジンをスタートした状態でジャンプスターターをバッテリーに接続したまま使用を続けしないでください。また走行もしないでください。
- ※接続したままにすると大きな電流が本体に流れるため安全装置が破損しバッテリーが熱を持ち火災が起る可能性があります。
- ※接続したままでも走行するとバッテリークランプが振動ではずれ火災が起こります。
- 消耗しきっている車両のバッテリー（死んだバッテリー）に接続すると本体の電池の寿命が短くなる場合があります。
- ※消耗しきっているバッテリーに接続すると本体の電気が車両のバッテリーへ急激にながれ本体が熱くなり製品の寿命が短くなります。また安全装置が働き作動しなくなる事もあります。
- ※仕事で消耗しきっているバッテリーへの接続が多い作業は確実に寿命は短くなります。
- その他の注意
- 湿気や水がある場所での使用は避けてください。
- 電池の改造、解体をしないでください。
- 子供が触らない所に置いてください。
- 製品を焼却炉に入れて燃やさない様に注意してください。
- 製品に付属する充電器以外で充電しないでください。
- 充電中の室内温度は0～45℃以内を守ってください。
- 充電中に異常や故障かなと思ったら、販売店に連絡してください。
- 製品の液体が目に入った時は、直ぐに水で洗って医者に相談してください。
- 充電中や放置中に、製品が熱くなったり色が変わったりした時は、使用を中止して下さい。液体の漏れ、煙の発生、火災になる可能性があります。
- 充電中は製品を燃えやすい物の上に置かないで下さい。（ベッドやタオル等）
- 保証を受けるときは、この保証書が無いと受けられませんのでご注意ください。

保証書

再発行

販売元

株式会社ハチハチハウス

〒352-0017 埼玉県新座市菅沢2-10-12